

平成21年度（2009年度）日本留学試験

日本語

（120分）

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴解・聴読解の四つの領域に分かれています。各領域の問題は、以下のページにあります。

領域	ページ
記述	1～3
読解	5～26
聴解	27～30
聴読解	31～53

4. 各領域の解答は、係員の指示にしたがって始めてください。指示されていない領域の問題を解答してはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴解・聴読解の解答は、解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*					*					
名前													

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで400字程度で書いてください（句読点を含む）。

① 仕事をしながら大学で学びたいと考える人がいます。そのような人々が仕事と勉強を両立しやすいように、大学は、

＜A＞テレビやインターネットで授業を行うコースを作る

＜B＞夜間や休日に大学で授業を行うコースを作る

という二つの方法が考えられます。

あなたは基本的に＜A＞と＜B＞のどちらに賛成しますか。どちらかの立場に立ち、理由を挙げて、考えを書いてください。賛成する方だけではなく、もう一方の内容についても触れながら書いてください。

② 各国の国立公園やユネスコ（UNESCO）の自然遺産など、貴重な自然が残されている地域に多くの観光客が訪れています。

あなたは、そのような地域を訪れる観光客の数を

＜A＞制限すべきだ

＜B＞制限すべきではない

のどちらに賛成しますか。どちらかの立場に立ち、理由を挙げて、考えを書いてください。賛成する方だけではなく、もう一方の内容についても触れながら書いてください。

——— このページには問題はありません。———

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢 1， 2， 3， 4 の中から答えを一つだけ選び，読解の解答欄にマークしてください。

問 1

次の文章は、ある研究者が若者に向けて書いたものです。筆者は何が一番大切だと言っていますか。

21世紀は君たちの時代。自分で価値観をつくり、責任を持って生きていってほしい。君たちは「生かしてもらっている」存在ではない。家畜のようになっては駄目だ。先生たちから習うことも必要だが、仲間と一緒に自分たちの時代を考えよう。

まずは個人の能力を確立し、優れた個人となってほしい。ただ、「個」イコール「私」ではない。優れた個人になることは大事だが、その個たちが公に資する気持ちを持つ必要がある。優れた「個」である人たちがみんな「私」のために働いたらどうなるだろう。優れた人たちが「公」のために尽くすことが、国づくりの原点だ。個人がきわめて利己的になっているのが、今日の諸悪の根源だと思う。

(野依良治『研究はみずみずしく』名古屋大学出版会)

1. 優れた個人が「私」のためだけに働くこと
2. 優れた個人が先生から多くのことを学ぶこと
3. 優れた個人が社会に貢献すること
4. 優れた個人が諸悪の根源を見きわめること

問 2

次の文章は、討論会の開催要項です。この討論会に応募するには、どのようにしなければなりませんか。

全国大学生・大学院生討論会 参加学生募集

全国の学生と熱い議論を交わしてみませんか。皆さんのご応募をお待ちしています。

1.日 時： 5月21日（土）10：00～

2.開催場所：中央文化センター（本町駅北口すぐ）

3.論 題：「日本はサマータイム制度を導入すべきである」

4.応募資格：大学生，大学院生（国籍問わず。使用言語は日本語）

1 チーム 3 名で応募。（全員が同じ大学に在籍していなくとも可）

5.応募方法：5月7日（土）までに要旨を下記の宛先へ送付してください。

要旨は、当日発表する内容をA4用紙（40字×30行で2枚以内）にまとめ、論題に関わる用語を必要に応じて定義してください。なお、図、表、グラフ等は添付できません。

6.締め切り：郵送の場合は当日消印有効。メール、FAXは当日24：00必着。

7.宛 先：全国大学生・大学院生討論会事務局

〒123-xxxx 東京都文京区xx 3丁目2番17号

FAX：03-xxxx-xxxx メール：officetoron@xxx-u.or.jp

1. 同じ大学の学生でチームを組む。
2. 規定に従って要旨を作成する。
3. 主要な用語に英語訳をつける。
4. 応募の際に必ず資料を提出する。

問 3

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

現在のようにインターネットの普及によって容易に異文化に接することができるようになると、人は自分の生活環境がそのままどこまでもつながっているような錯覚に陥りがちだ。自分の家にいながらインターネットに接続していると、その相手が、実は自分と全く違う背景と価値観を持った遠い国の人であることを忘れてしまう。長旅をしてようやく出会った相手と話しているのではない。異なった街の景色が見えるわけでもない。見えるのはコンピュータの画面である。自分と同じような環境で同じような考え方の人と交信しているとつい思いがちであるが、違いに気がつかないと、思わぬことで相手を傷つけたり、いろいろな摩擦やトラブルを起こしかねない。

(黒田玲子『科学を育む』中央公論新社)

1. インターネットで交信するより実際に会って話すほうがよい。
2. インターネットを通して自分の生活環境を広げたほうがよい。
3. インターネットで得られる異文化体験を大切にすべきだ。
4. インターネットで知り合った相手が自分とは違う環境にいることに注意すべきだ。

問 4

次の文章の内容を最もよく要約しているものはどれですか。

「学習や訓練」ということを生物学的に考えてみよう。生物の「学習や訓練」というのは、環境に適応するための活動にほかならない。そして、生物が環境に適応するというのは、環境に対応して自分を守るための方法である。例えば、動物心理学者が行った次のような実験がある。実験室でラットを育てるのだが、この時、ラットのケージの中に階段を作り、その上に餌^{えさ}を置く。ラットは、餌は階段の上にあるということを記憶し、階段をどうやって登るかを学習する。これを記憶、学習できたラットは、環境に適応して生きのびることができるのだが、これができなかったラットは、この環境に適応できないものとして死ぬよりほかないのである。

1. 生物の環境適応
2. 動物の心理
3. ラットの訓練
4. 記憶のメカニズム

問 5

次の文章で筆者は、山道ではどのように歩くのがよいと言っていますか。

山には山の歩き方があると書いたが、ポイントがいくつかある。その一つが、「二本のレールの上を歩く」ということだ。

ファッションモデルは、左右の足跡が一直線上に並ぶように歩かなければならないと聞いたことがある。それは見た目にきれいな歩き方なのかもしれないが、山では不安定この上ない。こういう歩き方で泥道を歩けば、ズボンの裾は泥だらけになってしまう。

山では、左右の足跡が二本のレール（平行線）の上に並ぶような歩き方が求められる。レールの幅は肩幅だと思っていい。右と左に一本ずつ、その上にそれぞれの足を交互に踏み出すようにすれば、安定した歩き方になる。これが身につくと、泥道でもズボンの裾を汚さなくなる。

（岩崎元郎『登山不適格者』日本放送出版協会）

1. 前の人足跡のとおり歩く。
2. 一歩の間隔が一定になるように踏み出す。
3. 一本のまっすぐなレールの上を行くように歩く。
4. 右足と左足が肩幅くらいの幅を保つように歩く。

問 6

次の文章の筆者が考える理想的な取材のあり方として、最も適当なものはどれですか。

ふつうの取材者が、いきなり、…（略）… みごとな対話を展開できるとはとうてい思えない。しかし、その理想的なかたちは、…（略）… どちらが問う人で、どちらが答える人であるか、という区別がだんだんなくなってゆくのが特徴なのである。はじめのあいだは、どちらが問う人なのか役割がはっきりしていても、話がすすんでゆくと、問う立場と答える立場とはいつのまにやら自由に交換されてゆくのである。つまり、ひとに話をきく、ということは、こちらが話すということであり、情報は相互交換的であるのがその理想のすがたなのだ。べつな言い方をすれば、話をききに出かけてゆくときの最大の収穫は、相互学習ということなのだ。こちらが相手方から話をひき出すが、同時に、相手方もこちららの話からなにごとかを学ぶ——それができるようになったら取材者としてもっとも立派なことだ、とわたしは思う。

（加藤秀俊『取材学』中央公論社）

1. 相手の話すことをよく聞く。
2. 相手が答えやすい質問をする。
3. 相手と互いに情報を与え合う。
4. 相手から多くの話を引き出す。

問 7

筆者は子どものころ、辞典の存在についてどんなことを考えていたと言っていますか。

辞典とか字引とか呼ばれるもののあることを初めて知ったのは、小学校（当時は国民学校）の高学年にかかる頃^{ころ}だった。…（略）…

その頃、おかしいことを考えていたのを憶えている。辞典を開けば言葉の意味がすべてそこに示されているのであれば、不明の点を自分で考えようとしたり、想像したり類推したりする努力を、人は放棄してしまうのではないかと。もう少しで思いつきそうなのにその意味を表現する適切な言葉を探し当てられぬ苛^{いら}立ちやスリル。文字や発音から漠としたイメージは伝わって来るのに、確かな意味を掴^{つか}むことのかなわぬ不安。そんな場所で言葉と戯れ、言葉と綱引きでもしてみたかったのかもしれぬ。学ぶより前に、僅^{わず}かな知識をもとにして何かを考えてみようとするなど不遜^{ふそん}の限りであったろう。

しかし見方によっては、辞典・字引というものの圧倒的な正しさを敬遠し、ページを開いて解答が与えられるまでの猶予の時間を少しでも延ばして楽しめたかったのだ、とも思われる。

（黒井千次「通用門の光景」入谷芳孝編『図書』第705号 岩波書店）

1. 自分の知らない言葉がわかるので辞典を使うべきだ。
2. 辞典の知識よりも自分の知識の方が正しいことが多い。
3. 辞典を使わずに本を読むのはよくないことだ。
4. 辞典で調べる前にその言葉を自分で考えてみたい。

問 8

次の文章で、よく眠るための方法として筆者が勧めているのはどれですか。

多くの方は音を消そうと躍起^{やつき}になります。しかし、物理的に音を消そうとしても根本的な解決にはならないことが多いのが現実です。時計を止めると、隣の部屋にある冷蔵庫の音が気になってくる。仕方がないので冷蔵庫の電源を切ると、今度は外の車の音が気になり始める……。こんな具合に、際限なく音が気になることもあります。

根本的には眠らなければいけないと焦り、聴覚が過敏になっているのが原因です。普段は気がつかないだけで、都市空間には小さな音があふれています。気に障る音源を排除しても、隠れていた別の音が次々と気になるだけです。

そこでお勧めなのが、『音を以^{もつ}て音を制す』という裏技です。気になる音を取り除くのではなく、気にならない別の音で隠してしまって、ぐっすり眠ろうという方針です。

(吉田たかよし『「脳力」をのばす！快適睡眠術』PHP研究所)

1. 気に障らないような音を流す。
2. 音をできるだけ小さくする。
3. すべての音を排除する。
4. 大きな音で小さな音を消す。

問 9

次の文章で筆者は、ヨーロッパ人が日本の茶に興味を持った理由は何だと述べていますか。

ヨーロッパ人は中国において茶を知った。しかし中国の茶が彼らに与えた文化的刺激は、日本の茶ほど強烈ではなかった。というのは、彼らが日本の茶にとくに魅せられたのは「茶の湯」文化にほかならないからである。…（略）…つまり「チャ」という奇妙な飲み物が、たんなる飲み物としてではなく、その飲み方が一種の儀礼として、不可解な宗教的神秘性と社会的倫理性をもっていることに、彼らはいたく感動したのである。

一服の茶を飲むのに、どうして茶室という、特別につくられた狭くて窓のない暗い部屋を使わねばならないのか。どうして日本人は、茶を飲むために、古い釜^{かま}や、古いヒビ割れした陶器に万金を投じ、これをダイヤモンドやルビーのように大切にするのか。ヨーロッパ人は「茶の湯」にますます好奇心をかき立てられた。

（角山栄『茶の世界史』中央公論社）

1. 日本の茶が中国の茶よりおいしかったから
2. 日本の茶の湯が儀礼として行われていたから
3. 日本の茶の道具が高価な宝石を使っていたから
4. 日本と中国の宗教の違いに興味があったから

問10

試験問題として成立していますが、
出版上の都合により本問題の掲載はいたしません。

問11

次の文章の下線部「ワナにはまってしまう」とはどうなってしまいますか。

我々の判断を鈍らせる大きなワナののひとつは「二分割思考」である。「二分割思考」とは全ての事物を「敵」と「味方」に分類するといったような、二者択一の思考法だ。敵と味方をはっきりと分け、中間は存在しない。「二分割思考」だと世の中はわかりやすい。わかりやすいから、精神的にも楽である。だが、現実の世界は複雑で渾沌こんとんとしている。誰が敵か味方かもはっきりしない。「昨日の友は今日の敵」なんて日常茶飯事だ。こういう現実の曖昧あいまいさをありのままの姿で受け止めるには精神的な強さが必要だ。

しかも我々の身近で「二分割思考」を一方向的に提示し続けるメディアが、テレビである。映像を用いて視聴者に訴えかけるには、コントラストがはっきりしていて、万人に理解しやすい「二分割思考」は手っ取り早い。「イエス」か「ノー」か、「善」か「悪」かははっきり区別して、日々情報を提供するテレビの影響を、誰もが少なからず受けている。よほど注意しないと、誰もがワナにはまってしまう。

(和田秀樹『「判断力」の磨き方』PHP研究所 を参考に作成)

1. 二者のどちらかに決めようとしてしまう。
2. 二者の中間がいいと思ってしまう。
3. 現実の曖昧あいまいさをそのまま受け入れてしまう。
4. 二者のどちらがよいかわからなくなってしまう。

問12

次の文章にある「マガーケの実験」からわかったことはどれですか。

1976年、英国の心理学者マガーケは、次のような実験結果を発表した。音節「ガ」を発声している人の画像をビデオに録画し、「ガ」の画像に「バ」の音声をつけてビデオテープを再生する。唇は「ガ」の動き、音は「バ」という状態である。結果は、「バ」でも「ガ」でもなく、「ダ」と聞いている人の割合が最も多かった。

… (略) …

目を閉じればラジオを聞くのと同じで、音声だけに頼って音の判断をおこなうので「バ」と判断される。ところが、目を開ければ唇の動きが見えてしまう。「バ」では唇は閉じた位置から発音するのに対して「ガ」では始めから開いている。したがって、マガーケの実験では唇の動きから「バ」ではないと判断され、結果として中間の音である「ダ」に聞こえてしまうのである。

(日本音響学会編『音のなんでも小事典』講談社)

1. 「ガ」の唇の動きで「バ」と言おうとすると「ダ」の音になる。
2. 唇の動きを見れば、その人が発音している音は正しく推測できる。
3. 音を判断する時には、目から得た情報より耳から得た情報が優先される。
4. 人は、目から得た情報と耳から得た情報を統合して、音声を認識する。

問13

次の文章は、*絵巻物の時間と空間の捉え方について書かれたものです。絵巻物の上では時間はどのように表されていますか。

『源氏物語』の絵巻物に直面すると、最初は誰もが戸惑うのではないだろうか。華麗な美しさはともかくとして、一つの絵の中に同じ登場人物が何人も登場したり、区切りのない空間で別の場面が展開されている。四コマ漫画のようにカットが変わっているならば、ストーリーの展開としてわかるのだが、同じ場面に過去も現在もが“同居”しているというのは、一体どういうつもりなのか作者の意図が理解できない。絵画の技法としては、高い技術を持っていても、時間と空間の捉え方、考え方が非科学的なのではないかと思ってしまう。

ところが、美術の専門家によれば「一枚の絵の中に、空間、時間、視点が混在」しているのが特徴で、「絵巻物を鑑賞する人間が両手で目の前に広げた部分を現在とし、鑑賞を終えて右に巻き込む部分が過去、左にあって徐々に見えてくるのが将来」と考えて構成されているのだという。

(織田一朗『時計にはなぜ誤差が出てくるのか』中央書院)

* 絵巻物



1. 時間は法則なく混在している。
2. 時間は場面を区切って表されている。
3. 時間は巻物の右から左へ流れる。
4. 時間を見る人が自由に解釈できる。

問14

次の文章で、生活はいつ「文化」になると言っていますか。

なりふりかまわず生きているとき、人間はまだ文化を持っていない。生きるなりふりに心を配り、人にも見られることを意識し始めたとき、生活は文化になる。喫茶のなりふりを気遣えば茶の湯が生まれ、立ち居ふるまいの形を意識すれば舞踊が誕生する。文化とは生活の様式だが、たんに惰性的な習慣は様式とは呼べない。習慣が形として自覚され、外に向かって表現され、一つの規律として人びとに意識されたときに、文化は誕生する。

(山崎正和『世紀を読む』朝日新聞社)

1. 自分のなりふりに気を遣わないとき
2. 茶の湯や舞踊を学び始めたとき
3. 自分の動きや姿を意識したとき
4. 生活の様式が自然に習慣となったとき

問15

次の文章の下線部「盗蜜」とはどんな意味ですか。

夏、ややしめった草はらでは、スラリと伸びた花茎を持ったコバノギボウシの花が咲きます。この花は花茎の片側に十数個ならんでいて、下のほうから順々に咲いていきます。朝開いて夕方にはしぼんでしまい、命は一日しかありません。ですから短い期間に、できるだけたくさんの虫たちに来てもらい花粉を媒介してもらわなくてはなりません。

しかし、花のつくりはじょうご形で根元のほうは細い筒状になっているため、よほど小さな虫でないと花の根元にある蜜が吸えないようなしくみになっています。

そこで、体の大きなクマバチやドロバチは花の中まで入ることができないため、花の根元の部分をかみ切ってそこから蜜を失敬してしまいます。植物にとっては、花粉の媒介はされず蜜をただ飲みされるだけで何のご利益もありません。このことを“盗蜜”といっています。ときには、当然花の中まで入れるような小さなハチまでが、クマバチやドロバチの開けた穴から蜜を失敬している光景さえ見られます。

(矢野亮『街の自然観察』筑摩書房)

1. ハチが花粉の媒介をするときに蜜をとること
2. 小さなハチが集めた蜜を大きなハチがとること
3. ハチが花粉の媒介をせずに蜜をとること
4. 小さなハチが花の中にすみついて蜜をとること

問16

次の文章の下線部「このつながりだけを人為的に太くしてやっている」とは、具体的にどうすることですか。

「栽培」とは、食料となる生物の力をフルに発揮させてやるために人が手助けをしてやることで、農業の場合には、水と肥料を植物に与えて、その成長をうながすわけです。魚の養殖は栽培漁業ともいいます。たとえば、高値で売れるハマチを育てるために、ハマチの稚魚をつかまえてきて*生簀^{いけす}に入れ、そこに餌^{えさ}になるイワシなどの小魚を大量に補給してやります。こうして、ハマチが効率的に収穫できるのですが、もとになるハマチの稚魚と餌のイワシは自然の産物です。つまり人は、食物連鎖のなかの小魚を大魚が食うというつながりだけに着目し、このつながりだけを人為的に太くしてやっていることになります。

(江崎保男『生態系ってなに?』中央公論新社)

*生簀：取った魚などを生かして飼っておく所

1. ハマチを生簀^{いけす}で卵から育てる。
2. ハマチに餌^{えさ}としてイワシなどを与える。
3. イワシをハマチとともに育てる。
4. ハマチの稚魚をイワシに食べさせる。

問17

次の文章は鳥の卵について書かれたものです。下線部「この結果」とはどんな結果ですか。

まず、私を卵集めに駆り立てる動機になった卵の「色」についてだが、本当のことをいうと、最初に出会ったムクドリのあのコバルト・ブルー色の卵以後、とんでもなく変わった色の卵には出会わなかったのだ。ジュウイチ、コルリなどの卵はムクドリの卵色に似てきれいな青緑色をしていたが、その他の卵では、ウグイスの^{だいたい}橙・チョコレート色を除くと、たいがい白色か、薄い茶褐色をしており、私の期待は大きく裏切られたといえた。

しかし、これは当時の私が知らなかったことで、鳥の卵殻につく色素は、血液を赤くしているヘモグロビン色素由来のポルフィリン（褐色やオリーブ色のもとになる）と、ヘモグロビンが分解された胆汁色素由来のシアニン（青色あるいは緑色のもとになる）の二つしかないから、この結果は当然といえば当然なのである。

（山岸哲『オシドリは浮気をしないのか』中央公論新社）

1. 卵の色を決定する色素が二種類であったこと
2. ムクドリの卵がコバルト・ブルー色であったこと
3. 今まで出会った鳥の卵の色が限られていたこと
4. ジュウイチ、コルリなどの卵も青緑色であったこと

問18

次の文章で筆者は、小学生の時期にどのようなことを身につけることが望ましいと述べていますか。

この年代で一番身につけてほしいのは、一定の役割や仕事を、感情の乱れやもつれなしにやり遂げる心の習慣である。昨夜お父さんに叱^{しか}られた。朝、お母さんと小さな感情的なトラブルがあった。きのう学校で先生に厳しく叱責^{しっせき}された。友だちに意地悪された。こんな心の傷つきや感情のトラブルは、人生にはつきものだ。それが家庭でも学校でも、どんな場所でも、人生はこれらの心の傷つきの連続なのだから、大切なのは、傷つかないことではなく、少しぐらいの傷つきがあっても、勉強は勉強としてやり遂げていく心の機能を身につけることである。

… (略) …

朝起き上がり、顔を洗い、洋服を着替え、朝食を食べ、学校に出かける。それがごくごく当たり前のことになり、ママ、パパがどうであろうと、先生や友だちとのトラブルがあらうと、狂ったり、乱れたりすることなどが夢にも考えられない、そんな習慣を身につけてほしい。

(小此木啓吾『母親に語る「しつけ」の精神分析』金子書房)

1. 両親が考えていることをよく理解すること
2. 感情的な問題があっても、やるべきことはやること
3. 親や先生とトラブルを起こさないこと
4. 将来の夢を持ち続けること

問19

次の文章で筆者は、「働く」ことの意味は何だと言っていますか。

「労働は神聖である」などとはぜんぜん考えていない現代のわれわれも、やはり「働いてこそ一人前である」と言います。そして、一部の人を除けば、「食べていける資産を持っていようといまいと、やっぱり働くべきだ」と思っています。

では、なぜわれわれはそう思うのでしょうか。最初の問いに戻って、「働く」ということの意味は何なのか、考えてみましょう。

… (略) …

社会というのは、基本的には見知らぬ者同士が集まっている集合体であり、だから、ここで生きるためには、他者から何らかの形で仲間として承認される必要があります。そのための手段が、働くということなのです。働くことによって初めて「そこにいていい」という承認が与えられる。

働くことを「社会に出る」と言い、働いている人のことを「社会人」と称しますが、それは、そういう意味なのです。「一人前になる」とはそういう意味なのです。

(姜尚中『悩む力』集英社)

1. 資産を築くこと
2. 生活していくこと
3. 神聖な行いをすること
4. 他の人から認められること

問20

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

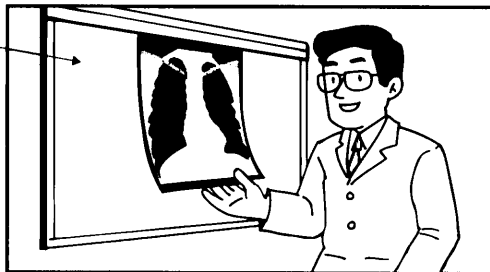
例えば、今日本国内で「ここに電気スタンドがあります」という発言は、ごく小さい幼児を除けば、ほとんどすべての人に伝達能力をもっています。つまり、わたくしの眼前にある「事実」について、それは、それだけ広い「客観性」をもっているわけです。しかし「ここにメソン（中間子）があります」という発言は、明らかにそうではありません。あるいは「この写真には肺ガンの病巣の影があります」という発言でもそうでしょう。

眼前の*シャウカステンに、あるX線写真のフィルムが装填^{そうてん}されています。しろうとのわたくしには、何が何だか皆目わかりません。しかし、隣にいる呼吸器専門の医師には、はっきり肺ガンの病巣が見えます。ここに一つの典型的な構造が見てとれます。

しろうとのわたくしにも眼前にあるモノクロームの写真が、X線写真のフィルムだということは見えます。それは、別に専門的な科学的知識を前提としなくても、そう見えます。しかし、そのフィルムのなかのある模様が、肺ガンの病巣に見えるためには、専門的な知識の前提が必要になります。

（村上陽一郎『新しい科学論』講談社）

*シャウカステン



1. 同じものを見ても、専門知識がないと見えないものがある。
2. 「事実」を分かろうとするときは、よく見る必要がある。
3. ものごとは、客観的に見るべきである。
4. 「事実」というのは、だれが見ても同じである。

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

1 番の前に、一度、練習をします。

— ヌ 毛 —

－ ヌ 毛 －

— ヌ モ —

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

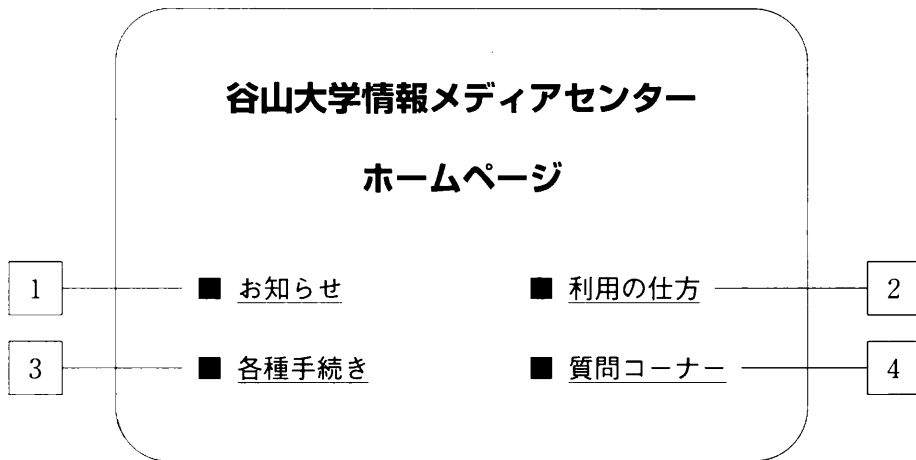
選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1 番の前に、一度、練習をします。

聴読解問題

練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1 番

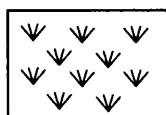
女子学生と男子学生が、夏休みにゼミの仲間と行う勉強会について話しています。勉強会の場所は、どこに決まりましたか。

夏休み中使用可能な学内施設					
	場 所	使用可能 人数	期 間	使用申請先	備 考
1	第1校舎 201～203教室	15	7月25日 ～9月5日	学生課	
2	第2校舎 105教室	100	7月25日 ～8月10日	学生課	
3	学生食堂 喫茶室	30	7月25日 ～8月10日	学生食堂	2時間まで 使用可
4	図書館 談話室	30	8月20日 ～9月5日	図書館 カウンター	

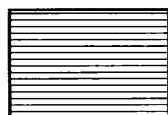
2 番

先生が、動物による農作物被害を防ぐ方法について説明しています。この先生が提案した方法を図にすると、どうなりますか。

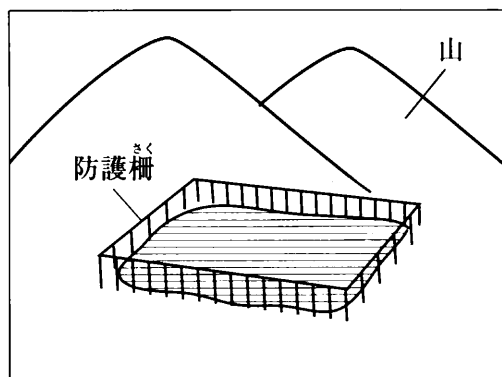
クマ用の畑



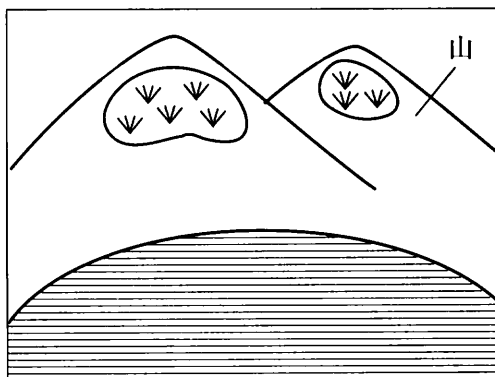
収穫用の畑



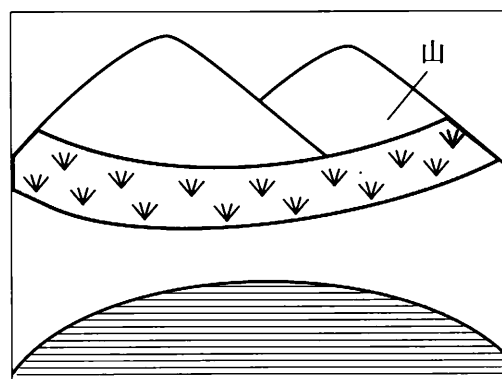
1.



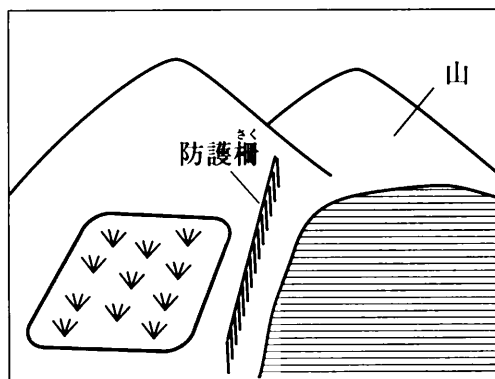
2.



3.



4.



3 番

女子学生と男子学生が、男子学生がゼミで発表する、鉄鋼業の立地条件について話しています。この男子学生は、発表資料のどの部分を中心に発表しますか。

鉄鋼業の立地の変遷			
	必要な資源 (鉄1トン当たり)		鉄鋼業の立地
	石炭	鉄鉱石	
19世紀はじめ	10トン	2～3トン	石炭産地—— 1
20世紀はじめ	4トン	2トン	石炭産地（一部、鉄鉱石産地）—— 2
現代	0.4トン	1.6トン	日本：臨海部—— 3
			ブラジル・中国など：資源産地—— 4

(山岡信幸『忘れてしまった高校の地理を復習する本』中経出版 を参考に作成)

4 番

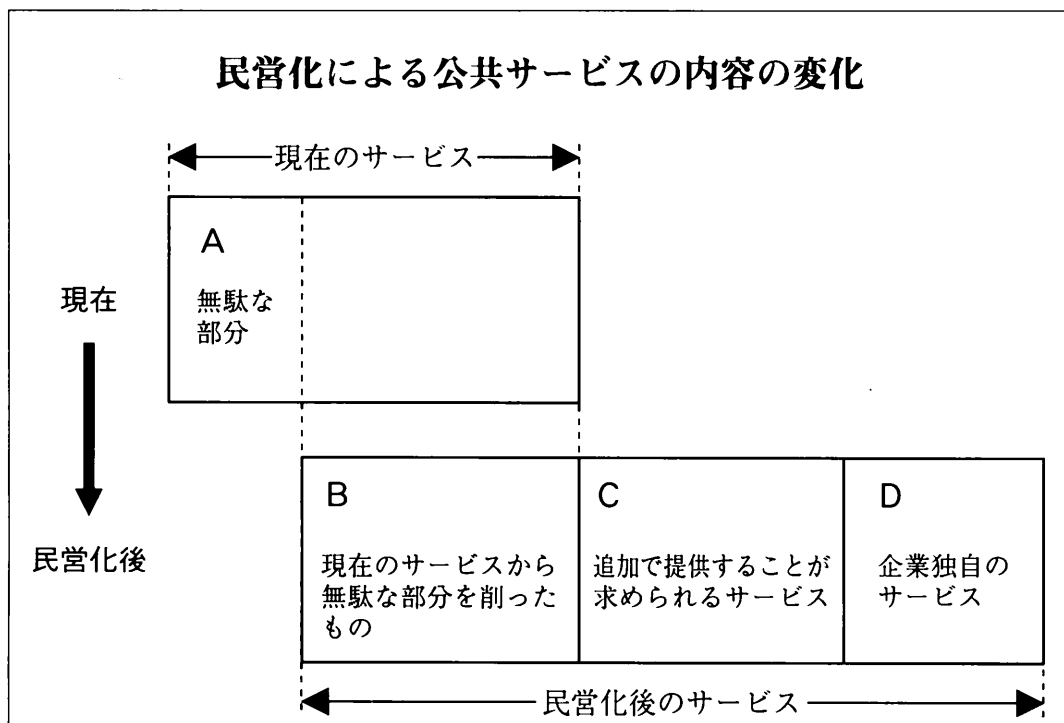
先生が外来語について話しています。「リターラウト」という外来語はどのグループに入りますか。

外 来 語 の 使 わ れ 方

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | A | 同じ意味内容の表現が日本語にも既にあるもの
例)「生活様式」→「ライフスタイル」 |
| | | B 同じ意味内容の表現が日本語になかったもの |
| 2 | B—① | もともと日本語にはなかった「物」
例)「テレビ」,「ケーキ」 |
| 3 | B—② | もともと日本にはなかった「概念」
例)「インフォームド・コンセント」(説明と同意) |
| 4 | B—③ | それを表す適切な日本語の表現はなかったが、その物や概念自体は以前から日本にあったもの
例)「ドメスティック・バイオレンス」(主に夫婦間の家庭内暴力) |

5 番

先生が、公共サービスの民営化について、図を見せながら説明しています。この先生は、
 どのような点について、十分な理解が必要だと言っていますか。



1. Aがなくなる点
2. Bが保たれる点
3. CとDが加わる点
4. サービスが向上する点

6 番

男子学生と女子学生が、合宿のための買い物について話しています。

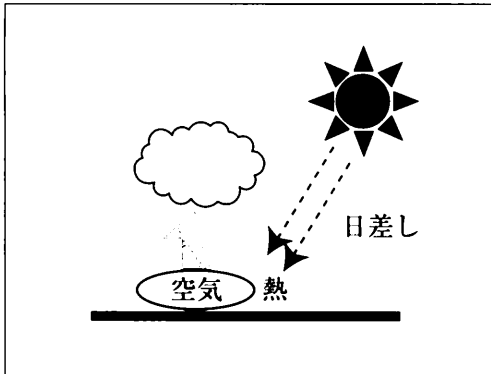
この男子学生が買わなくてもいいものは何ですか。

買い物リスト		
食料品	カップラーメン	
	おかし	
	調味料 (油, 塩, しょうゆ, 砂糖)	
	コーヒー豆	
	ミネラルウォーター	
		1.
薬	胃薬	
	かぜ薬	
	バンドエイド	
		2.
薬	胃薬	
	かぜ薬	
	バンドエイド	
		3.
その他	紙コップ, 紙皿, わりばし	
		4.

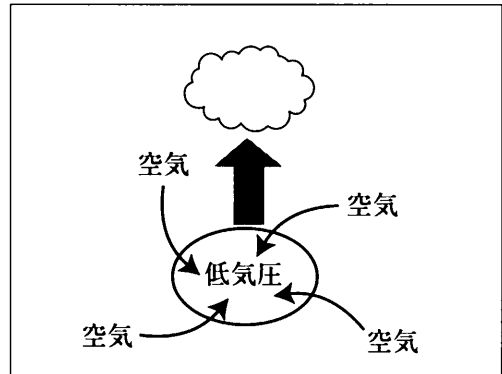
7 番

先生が、雲ができるしくみについて話しています。この先生が最後に説明するのは、図のどれですか。

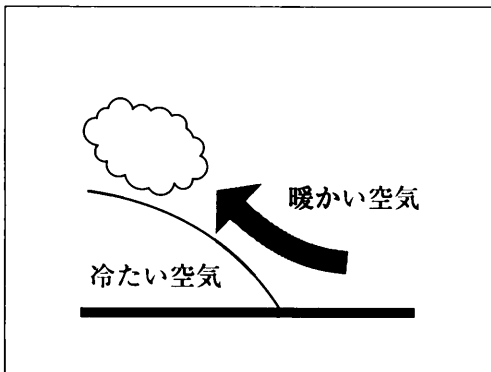
1.



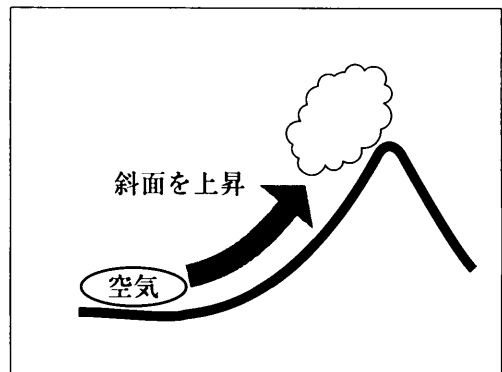
2.



3.



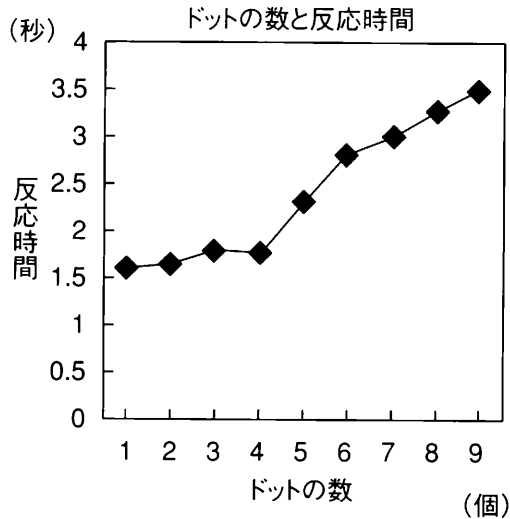
4.



(松江地方気象台ウェブサイト「雲のできる仕組み」 <http://www.osaka-jma.go.jp/matue/column/cloud/cloud.html> を参考に作成)

8 番

先生が、数の認識に関する実験について話しています。先生は、この実験結果から、ヒトがどのような方法で数を認識していると考えていますか。



(松沢哲郎『チンパンジーの心』岩波書店 を参考に作成)

1. 4までは「直感的把握」で、5からは「数え上げ」をしている。
2. 4までは「数え上げ」で、5からは「直感的把握」をしている。
3. 4までは「直感的把握」で、5からは「推量」をしている。
4. 4までは「推量」で、5からは「数え上げ」をしている。

9 番

先生が、授業で論理性について説明しています。この先生は、事例が変わると、どういうことに気づきやすくなると言っていますか。

子どもは、健康のために体を強くしなければならない。
() をすると体が強くなる。
だから、子どもは、() をしなければならない。

1. 論理が正しいこと
2. 論理が間違っていること
3. 論理構造が変わったこと
4. 反論ができなくなったこと

10番

学生課の人と留学生がホームステイについて話しています。

この留学生が、ホームステイをするのはどの人の家ですか。

ホームステイ受け入れ家族一覧

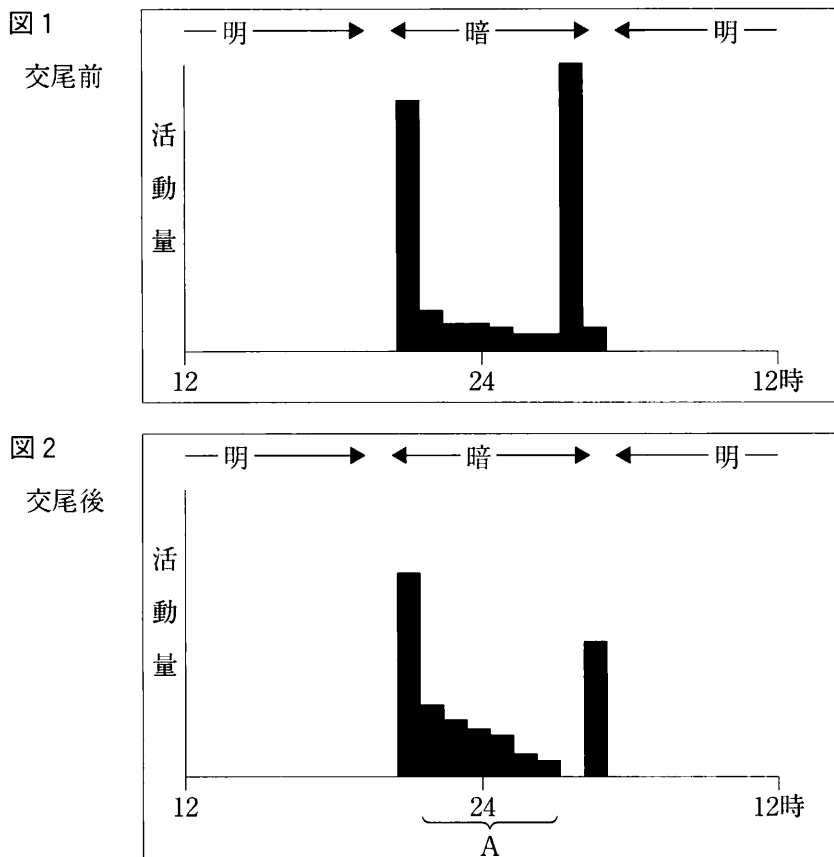
お名前	ご家族の人数	家族の中で英語がわかる人	^{もより} 最寄駅から自宅までの 交通手段と所要時間
Aさん	7人	なし	徒歩5分
Bさん	6人	1人	徒歩20分
Cさん	2人	なし	バス15分
Dさん	2人	2人	徒歩3分

1. Aさん
2. Bさん
3. Cさん
4. Dさん

11番

先生が、生物学の授業で、「アカイエカ」という蚊^かの活動について、図を見せながら説明しています。図2のAの部分で図1より活動量が増えているのは、蚊がどんな行動をしているからですか。

アカイエカのメスの活動



(千葉喜彦『からだの中の夜と昼』中央公論社 を参考に作成)

1. 卵を産み付ける場所を探しているから
2. 雄の蚊^かを追っているから
3. 鳥や獣^{けもの}など、血を吸う対象を探しているから
4. 群れになって飛んでいるから

12番

男子学生と女子学生が環境保全を呼びかけるチラシを見ながら話しています。
女子学生が実践している項目はいくつありますか。

地球環境を守るために環境保全行動を実践しましょう

A から D までのうち あなたはいくつ気をつけていますか？

A. 電力を節約する

例えば

エアコンの設定温度を適正にする。(冷房28℃, 暖房20℃)
不要な照明をこまめに消す。

B. 資源を節約する

例えば

新聞紙などの古紙, 空き缶, 空きびんなどのリサイクルを実践する。
過剰な包装は断る。

C. 水を節約する

例えば

炊事や洗面での水の出しっぱなしをやめる。
洗濯をするとき, ふろの水を利用する。

D. 自動車の利用

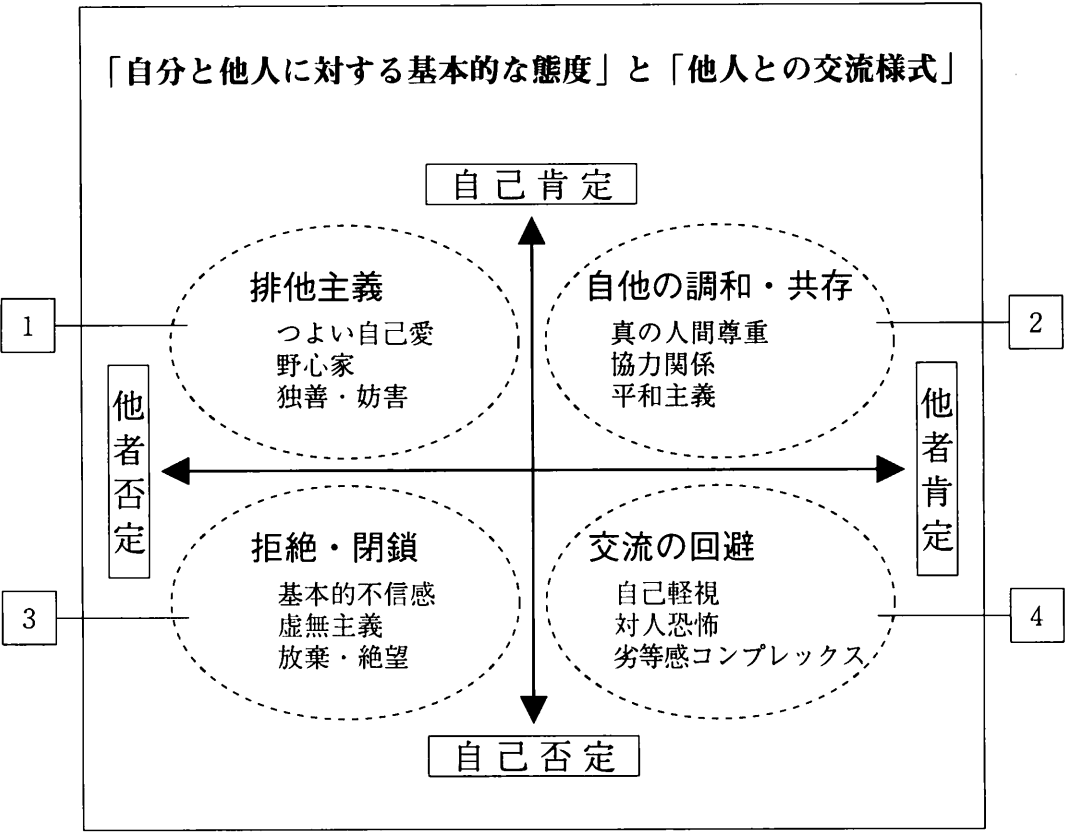
例えば

車を使わず, 電車やバスを利用して, ガソリンの消費を抑える。
急発進しない。

1. 一つ
2. 二つ
3. 三つ
4. 四つ

13番

先生が、授業で、自分や他人に対する態度と、他人との交流の仕方について話しています。
この先生が最後にする質問の答えは、図のどこにあたりますか。



(中村和子他『わかりやすい交流分析』チーム医療 を参考に作成)

14番

セミナーが行われています。今、講師が話しているのは、どの部分ですか。

セミナー 「数学教育の未来を考える」

1

他教科との関連づけ

講師 山田光二氏

－高等学校における問題点－

2

文化とのかかわり

講師 高橋和夫氏

－数の数え方－

3

分析と発見

講師 鈴木 広氏

－プロセスから学ぶこと－

4

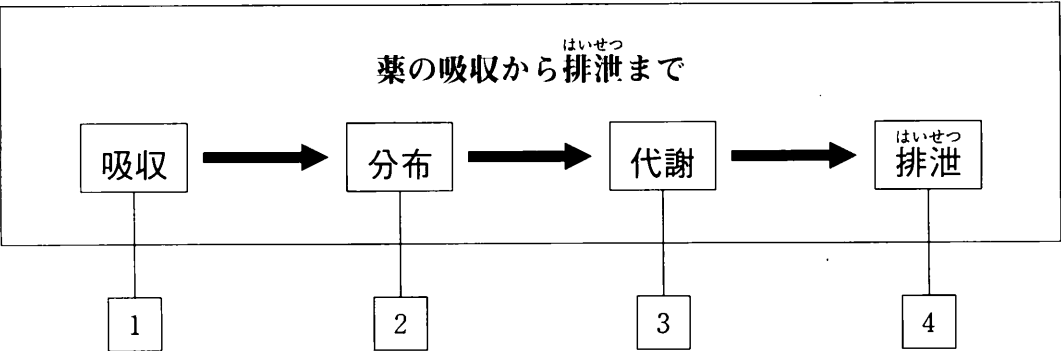
今後の数学教育

講師 佐藤高志氏

－考える人を育てるために－

15番

先生が、授業で、薬の吸収から排泄^{はいせつ}までの流れについて、図を見せながら説明しています。
この先生が最後にする質問の答えは、図のどの段階にあてはまりますか。



(田中正敏『超図解 薬はなぜ効くか』講談社 を参考に作成)

16番

先生が、防災について話しています。この先生がこれから話すのは、表のどの部分にあたりますか。

防災の役割分担		
	行政の対策	地域住民の対策
被害を出さないための 事前対策	<ul style="list-style-type: none"> ●施設や構造物の耐震化 ●道路や公園の整備 ●情報システムの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●住まいの耐震化 ●防災まちづくり
被害を軽減するための 事後対策	<ul style="list-style-type: none"> ●初動体制，危機管理 ●応急対応，復旧対応 ●復興対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●直後の対応 ●応急対応 ●くらしの再建

（重川希志依「防災講演会 その時あなたは」平成13年度防災人づくり塾報告

http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/05/0502/bousai/pdf/bousai_hitodukuri-12.pdf

を参考に作成)

17番

女子学生と男子学生が掲示板を見ながら、集中講義について話しています。この男子学生はどの集中講義を受講しますか。

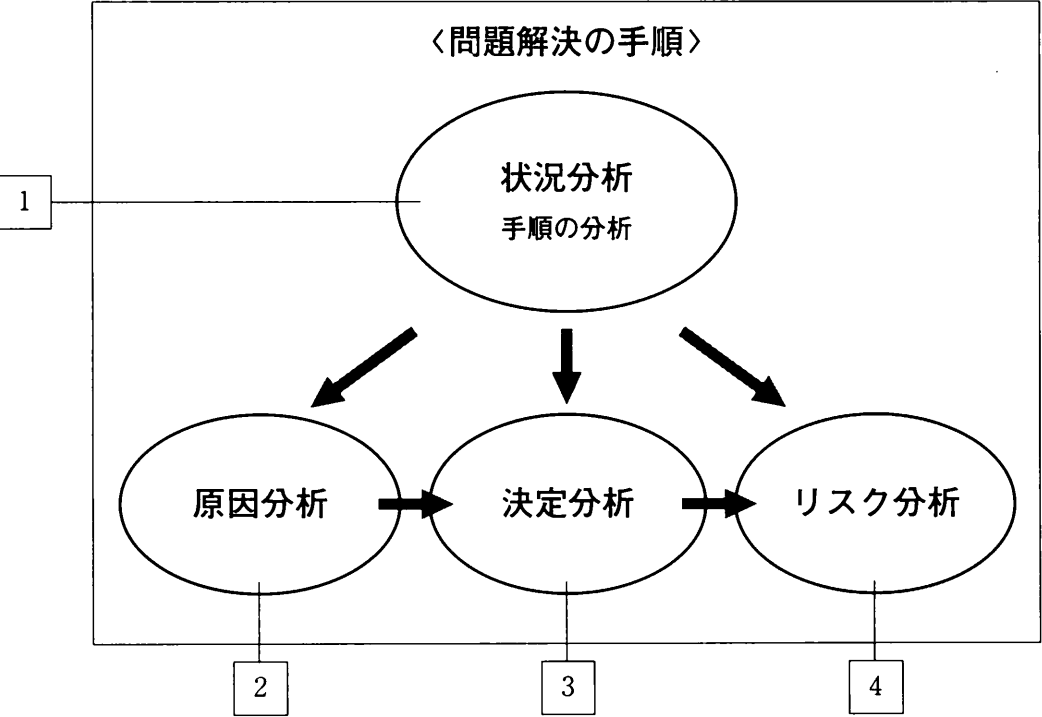
集中講義のお知らせ			
A	科 目： 日本語学特講 単位数： 2単位 教 官： 山田太郎 日 程： 8月3日(月)～6日(木) 時 間： 3限 対 象： 学部生・大学院生	科 目： 社会言語学 単位数： 2単位 教 官： 鈴木花子 日 程： 8月11日(火)～14日(金) 時 間： 2限 対 象： 学部生	B
C	科 目： アジア文化交流史 単位数： 2単位 教 官： 谷口正子 日 程： 9月1日(火)～4日(金) 時 間： 2限 対 象： 大学院生	科 目： 西洋哲学 単位数： 2単位 教 官： 野村明男 日 程： 9月7日(月)～10日(木) 時 間： 3限 対 象： 学部生	D

※学部生は大学院生のみを対象とする授業も聴講できます。
ただし、授業の単位は取得できません。

1. AとC
2. BとC
3. AとD
4. BとD

18番

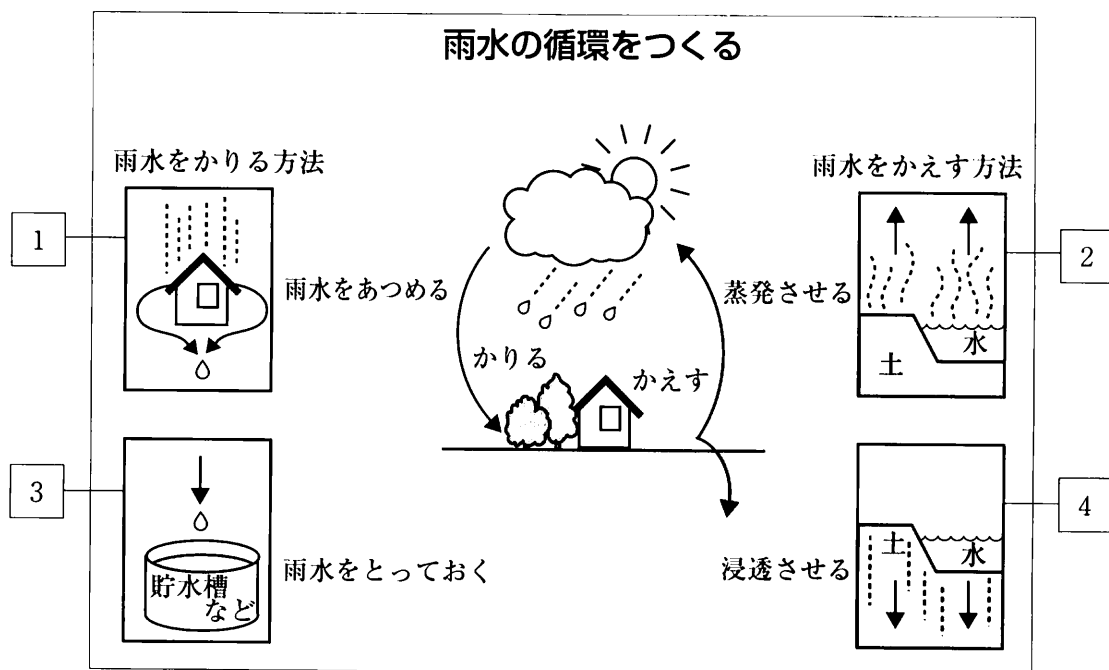
先生が、授業で、問題解決について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。



(今井繁之『難問を解決する意思決定の思考法』日本実業出版社 を参考に作成)

19番

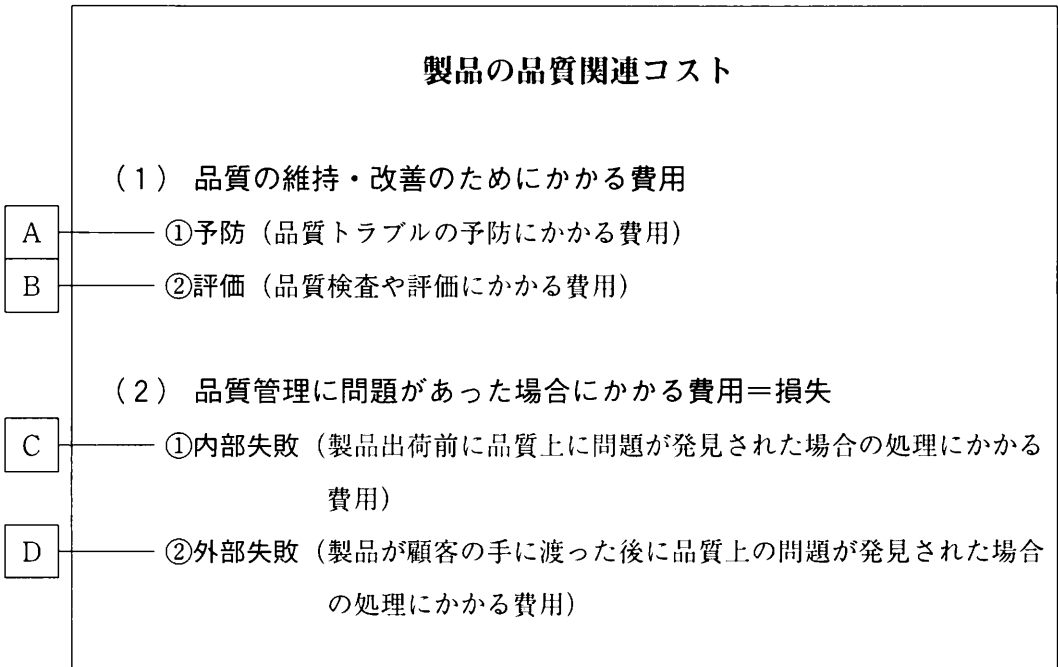
先生が、雨水の循環について説明しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどれですか。



(日本建築学会編著『暮らしに活かす 雨の建築術』北斗出版 を参考に作成)

20番

先生が、経済学の授業で、製品の品質の維持・改善・管理にかかる費用について説明しています。この先生は、資料のどの費用に注目すべきだと言っていますか。



1. AとB
2. AとC
3. BとD
4. CとD

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

——— このページには問題はありません。 ———

——— このページには問題はありません。———

🎧 聴解問題スクリプト

Track 4

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 6

1 番 男子学生と女子学生が、学校の前にある橋について話しています。この男子学生は、この橋をどうすべきだと言っていますか。

男子学生：ねえ、学校の前にある橋って、柵ってというか、欄干^{らんかん}が低くて危ないよね。あれは、欄干をうんと高くして、人が絶対に落ちたりしないようにしたほうがいいよ。

女子学生：そうだね。でも、ただ高くすればいいってもんじゃないんじゃない？ デザインもよくないと。

男子学生：うーん……でもさ、今あるのに付け足すとかして、欄干だけはすぐにでも高くすべきだよ。

女子学生：そうかもしれないけど、私は橋ってデザインが周りの景色になじむことも大事だと思うな。周囲から浮いてると、街が落ち着かない感じになるし、どうせなら、全部取り替えちゃったほうがいいと思うな。

この男子学生は、この橋をどうすべきだと言っていますか。

1. 新しい橋に替えるべきだ。
2. デザインをよくすべきだ。
3. より安全な形にすべきだ。
4. 周りの景色と合うようにすべきだ。

Track 7

2 番 女子学生が、ゼミで、桜について調べたことを発表しています。この女子学生が、この話のあと話すのは、どのような内容ですか。

日本の代表とされる花、桜に対しては、はかなさや潔さといったイメージを抱く人も多いと思います。私はこのイメージが、日本人の好みに合うため、昔から日本の花として人々に愛され、広まったのだと思っていました。しかし、今回調べてみてわかったのですが、今、日本で見られる桜の多くはソメイヨシノという種類で、近代以降に植えられたものなのだそうです。では、どうしてソメイヨシノが日本中に植えられたのかというと、そこには、現実的な理由がありました。ソメイヨシノは、成長が早くて大量生産できる、苗木が安い、といったものです。私にとって、これは大変興味深いことでした。そこで、今日はこの点について詳しくお話ししたいと思います。

この女子学生が、この話のあと話すのは、どのような内容ですか。

1. 昔の桜と現在の桜の違い
2. 日本人が持つソメイヨシノのイメージ
3. 桜が日本人に愛される理由
4. ソメイヨシノが広まった理由

Track 8

3 番 先生が、授業の最初の日に学生に注意を与えています。この先生は、授業では、何をもとに成績評価をと言っていますか。

この授業では、電車が遅れたなどのやむをえない場合を除いて、遅刻は認めません。授業開始後、出席を取りますが、取ったあとに来た場合は、欠席扱いになります。出席率はもちろん成績評価に含まれますので、注意してください。また、毎回授業の最後の10分間で小テストをしますが、これは授業を熱心に聴いていれば簡単にできるものです。ですから小テストは自己評価に使ってください。私の評価の対象にはしません。それから、学期末にレポートを書いてもらいます。もし提出が遅れたり、提出しなかったりした場合は、不合格ということになります。

この先生は、授業では、何をもとに成績評価をされていますか。

1. 出席率と小テスト
2. 出席率とレポート
3. 出席率と小テストとレポート
4. 出席率と授業態度とレポート

Track 9

4 番 外国人の男性と日本人の女性が日本人の食生活について話しています。この女性は日本人の食生活は以前と比べてどうなったと言っていますか。

男性：日本人って、パンとかスパゲッティもよく食べるんですね。

女性：ああ、特に若い人はね。昔と比べると、お米を食べなくなったわねえ。

男性：昔は、ご飯のほかにどんな物を食べていたんですか。

女性：そうねえ、ご飯を中心に、魚と野菜っていうのが伝統的な和食と言われているけど。今じゃ随分変わっちゃったし。

男性：具体的にどう変わったんですか？

女性：肉とか乳製品とかをたくさん食べるようになって、料理の方法もバターや油を使うことが多くなったわね。

男性：そうですか。

女性：それに、最近、野菜やくだものの種類も、とっても豊富になったわね。ちょっと前までは珍しかった果物なんかも、安くなってきて、結構食卓にのぼるようになったしね。

この女性は日本人の食生活は以前と比べてどうなったと言っていますか。

1. 若い人はパンやスパゲッティを食べなくなった。
2. 日本人は、以前と同じようにご飯をたくさん食べている。
3. 日本人は、肉や乳製品を多く食べるようになった。
4. 野菜や果物の種類が多くなったが、高くてなかなか食べられない。

Track 10

5 番 話し方の専門家が、テレビ番組で、「心をつかむ話し方」というテーマで話しています。この専門家は、どんな話をすれば聞き手は興味を持つと言っていますか。

どんな話をすれば、人は興味を持って自分の話を聞いてくれるでしょうか。ドラマのような感動的な話をすればいいのでしょうか、それとも、今まで聞いたことがないような珍しい話でしょうか。人に話すようなおもしろいことなどめったに起こらない、という人がいると思いますが、何も特別なことを話さなければいけない、というわけではありません。

例えば、重い荷物を持ってバスに乗っているとき、前に座っている人が「お持ちしましょうか。」と言ってくれてうれしかった、というような話でいいのです。聞いている人も、自分の経験と重ねて共感してくれるでしょう。話し手と聞き手が同じ気持ちを共有するということが大切なのです。

この専門家は、どんな話をすれば聞き手は興味を持つと言っていますか。

1. ふだん誰もが体験するような話
2. ドラマのような感動的な話
3. 珍しい体験をしたときの話
4. 人から聞いたおもしろい話

Track 11

6 番 女子学生が男子学生に学校に来る交通手段について聞いています。この男子学生が自転車で通学するようになって、特に変わったことは何ですか。

女子学生：青木君、電車通学をやめて自転車で学校に来てるんだって？

男子学生：うん。だって電車っていつも混んでるだろ。僕、人ごみっていやなんだ。それに僕の場合、電車を使うと何回も乗り換えが必要だね。

女子学生：そうなの。でも、自転車じゃ大変なんじゃない？

男子学生：いや。家から学校まで7キロくらいだから、大したことないよ。電車を使った場合とかかる時間もあまり変わらないし。

女子学生：へえ。でも、疲れて授業中眠くなっちゃいそうだけど。

男子学生：いやあ、逆だよ。自転車だと体を動かすから、頭がさえて勉強もはかどるんだ。そのかわり、夜は早く寝るようにしてるけどね。

この男子学生が自転車で通学するようになって、特に変わったことは何ですか。

1. 通学にかかる時間が長くなったこと
2. 授業中に眠くなるようになったこと
3. 勉強の能率が上がったこと
4. 通学で疲れるようになったこと

Track 12

7 番 先生が、授業で、食べ物や飲み物の味について説明しています。この先生が一番言いたいのは、どんなことですか。

私たちが食べ物や飲み物の味を判断するとき、純粹に舌で感じ取った感覚だけで判断しているのでしょうか。

次のような場合を考えてみましょう。部屋を真っ暗にして、目の見えない状態にします。さらに鼻をつまんで、オレンジジュースとリンゴジュースを飲み比べてみます。こうすると、目と鼻からの情報、つまりジュースの色やにおいはわからないので、舌だけで判断するしかなくなります。この状態で飲んだジュースは、ほとんど味の区別がつかないのです。ところが、鼻をつままず、においがわかるようにして飲むと、目からの情報がなくても、どちらがオレンジジュースでどちらがリンゴジュースかはすぐにわかります。

この先生が一番言いたいのは、どんなことですか。

1. 味は舌だけで判断できる。
2. 味を舌だけで区別するには訓練が必要である。
3. 味を判断するときには、目からの情報に大きく影響される。
4. 味を判断するときには、においの影響を受けている。

Track 13

8 番 男子学生と大学職員が見学旅行について話しています。この男子学生が見学旅行に行くためにはどんな条件が必要ですか。

男子学生：すみません。あの、掲示板で工場見学募集を見たんですが。

職員：はい、工場の見学旅行の募集ですね。

男子学生：あの、申し込みたいんですけど……。

職員：あれは、締切は今週の金曜日までなんですが、もう定員に達してしまったんです。

男子学生：えっ、じゃあもう募集していないんですか。抽選じゃないんですか。

職員：ええ、先着順なんですよ。

男子学生：そうですか……。

職員：あ、でも、なかにはあとで取り消す人もいないかもしれないので、一応この用紙に名前と連絡先を記入してください。

男子学生：可能性ありますか。

職員：まだわかりませんが、例年2、3人いますから。

男子学生：そうですか。じゃ、そうします。

この男子学生が見学旅行に行くためにはどんな条件が必要ですか。

1. 今週中に申し込むこと
2. 断る人が出ること
3. 抽選にあたること
4. 条件はない

9番 女子学生と男子学生が、道路の脇に植える木について話しています。この男子学生は、道路の脇に植える木について、どんな研究が始まっていると言っていますか。

女子学生：ねえ、道路の脇に木が植えてあるのを見ると、リラックスしてストレス解消になるよね。

男子学生：そうだね。それに街路樹って環境にもいいらしいよ。

女子学生：あ、木が二酸化炭素を吸収するから？

男子学生：それだけじゃなくて、木は大気汚染の原因になる物質を吸収するらしいよ。

女子学生：じゃあ、道路脇の街路樹のおかげで、空気がきれいになるってこと？

男子学生：うん。それで、大気汚染を改善するための植物を作り出す研究も始まっているんだって。

女子学生：どういうこと？

男子学生：例えば、木の遺伝子を操作して、大気汚染の原因物質をより多く吸収する品種を作り出すとか。

女子学生：えっ、そこまで進んでるんだ。

この男子学生は、道路の脇に植える木について、どんな研究が始まっていると言っていますか。

1. 木の緑色をより美しくする研究
2. ストレスを解消する木を作る研究
3. 木が持ついろいろな能力を調べる研究
4. 空気をきれいにする木を作る研究

10番 男子学生が、環境税についての意識調査の結果を発表しています。この男子学生の予想と違っていたのは、どんなことですか。

森林保護について対策が必要だということは、多くの人が同意すると思います。でも、そのために自分がお金を負担しなければならないとなると、それは嫌だ考える人が多いんじゃないでしょうか。そう思って、僕は、環境税、つまり環境保護のために特別な税金をとることについて、人々がどう思っているかを調べてみました。結果は予想とは違っていました。森林環境を守るための環境税について、一人当たり年間いくらかは負担してもいいという人は76%にも達し、四分の三をこえていました。このうち、千円ぐらいでもいいという人は20%もいました。全く負担したくないという人は11%にすぎませんでした。

この男子学生の予想と違っていたのは、どんなことですか。

1. 環境税を払ってもいいという人が多かったこと
2. 環境税は高いほどいいという人が多かったこと
3. 環境税は必要ないという人が多かったこと
4. 環境税は必要だが払いたくないという人が多かったこと

Track 16

11番 先生が、生物学の授業で話しています。この先生は、カラスという鳥はどのように生活していると言っていますか。

ヒトの立場からヒトと生き物との関係を見た場合、生き物は大きく二つに分けることができます。一つは、「家畜やペット」です。これらの生き物は、ヒトの生活に役立つように、ヒトが手を加えているもので、ヒトに管理されて生きています。そして、もう一つが「野生動物」です。これらはヒトに管理されることなく生活し、自然の仕組みの中で生きています。

最近、一応野生動物の中に含まれるけれども、ヒトの生活から生み出されたものを利用して、種の繁栄をはかっている動物たちの存在が目立つようになりました。例えば、カラスという鳥が代表的なものとして挙げられます。このグループに属する動物は、さまざまな環境に適応でき、いろいろな物を食料にする、という特徴があります。

この先生は、カラスという鳥はどのように生活していると言っていますか。

1. ヒトに管理されている。
2. ヒトの生活を利用している。
3. ヒトと敵対している。
4. ヒトに利益を与えている。

Track 17

12番 アナウンサーが大学の学長に取材をしています。この大学の学長は、中高年の大学入学者は、どんな人が多いと言っていますか。

アナウンサー：そちらの大学では、中高年の人を積極的に受け入れているそうですね。

学長：ええ。定年後に大学に入学する方が増えてきました。そういう方々は、大学で学んだことを地域活動や国際交流活動などで社会に恩返ししたい、という方が多いんですよ。大学側としましては、真に豊かな社会を作る人材になると期待しています。

アナ：それはいいことです。

学長：ええ、そういった姿勢は、若い学生にとってもいい刺激になっているようです。

この大学の学長は、中高年の大学入学者は、どんな人が多いと言っていますか。

1. 社会への貢献に意欲を持っている
2. 大学に恩返しするために学んでいる
3. 社会経験を若者に伝えたいと思っている
4. 若い学生との触れ合いを楽しんでいる

Track 18

13番 先生が、講演会で、薬の開発について話しています。この先生は、日本では現在どのような薬が注目されていると言っていますか。

新しい薬の開発には膨大な費用が必要で、何百億円もかかる場合があります。そのため日本では、新しい薬は、開発後およそ20年の間、開発した企業だけがこの薬を作って売ることができるになっています。しかしそれ以上経つと、他の企業も、同じ薬を製造し販売することが可能になります。後から同じ成分の薬を作れば研究や実験にかかる時間も費用も少なくてすみますから、薬の値段を低くできます。現在、このような薬が、医療費の負担を軽くするものとして注目されています。

この先生は、日本では現在どのような薬が注目されていると言っていますか。

1. 最新の研究に基づいて作られた新しい薬
2. 長い年月をかけて安全性が確認された薬
3. 先に開発された薬と同じ効き目のある安い薬
4. 開発に多額の費用をかけた薬

Track 19

14番 雑誌の編集者が、講演会で、雑誌の見出しのつけ方について話しています。この編集者は、雑誌の見出しにはどんな工夫があると言っていますか。

私たち編集者は、常に、自分の思いや考えをできるだけ簡潔に相手に伝えるよう心がけています。例えば、雑誌や新聞などでは、読者の注意を引くために、記事の内容をまとめ、読む人が関心を示しそうな表現を使って見出しをつくります。見出しはたいいてい短い一文です。そのほうが目に留まりやすいからです。印象深い言葉を使って読者の注意を引くことで、記事も読んでもらうようにするのです。

この編集者は、雑誌の見出しにはどんな工夫があると言っていますか。

1. 文章の中で使われている一文を見出しにも使う。
2. 誰にでも理解できるやさしい言葉を使う。
3. 読者の目に留まるよう、大きな文字で書く。

4. 人をひきつけるような言葉で短く表現する。

Track 20

15番 先生が、生理学の授業で、人が運動するときの、水分の補給の仕方について話しています。この先生が説明しているのは、水分を補う場合のどんなことについてですか。

人間にとって水分は非常に大切なものです。体内の水分が足りなくなると体調を崩すことがありますし、場合によっては死んでしまうこともあります。特に、マラソンなどの激しい運動では、大量に汗をかいて体の水分が失われますから、水分を補う必要があります。

しかし、水分を補給したからといってすぐ、水分が体に行き渡るわけではありません。コップ1杯の水の場合、飲んだ水が全身に届くまでに1時間半ぐらいかかると言われています。その間にも、汗でさらに水分が失われていくので、のどの渇きを感じてから水を飲んだのでは遅いのです。ですから、こまめに水分を補給することが必要です。

この先生が説明しているのは、水分を補う場合のどんなことについてですか。

1. いつ飲むか
2. どんな飲み物を飲むか
3. どのくらいの量を飲むか
4. 飲んだ後どうするか

Track 21

16番 女子学生と男子学生が、留学生の友達と一緒に食事に行こうと相談しています。食事には何曜日に行くことにしましたか。

女子学生：ねえ、山田くん、来週、久しぶりにチンさんといっしょに御飯でも食べない？

男子学生：あ、いいね。ぜひ。

女子学生：いつがいい。

男子学生：統計学のレポートの締め切りが火曜日だから、水曜以降かな。週末はどう？

女子学生：それがね、チンさんが週末ダメなの。金曜日から二泊三日で温泉だって。

男子学生：そう。それなら、水曜か木曜は？

女子学生：ごめんなさい、水・木は私が都合悪いのよね。

男子学生：だったら、統計学のレポートは3時までに提出だから、夜ならその日でもいいよ。

女子学生：悪いわね……。じゃあ、くわしい時間と場所、あとで連絡するね。

食事には何曜日に行くことにしましたか。

1. 月曜日
2. 火曜日
3. 水曜日
4. 木曜日

Track 22

17番 先生が、経営学の授業で、商品を多くの人に売るための方法について話しています。この先生の話によると、企業が若者に注目しているのはなぜですか。

企業が商品を売り込むときに力を注ぐのは、新しいアイデアや新しい商品をいかに幅広い世代の消費者に受け入れてもらうかということです。

そんな中、企業が注目しているのが「若者」の評価です。一般に、若者は思考が柔軟で、新しいものや、珍しいものを受け入れやすいと言われています。若い人は、社会と関わっている時間がまだそれほど長くないので、慣習や伝統に縛られることなく、自分の考えでものを評価することができるのでしょう。ですから、新製品はまず若者に受け入れられ、それから一般に広がっていくことが多くなります。若者に受け入れられると、他の年代にまで受け入れられる可能性が高くなるということなんですね。

この先生の話によると、企業が若者に注目しているのはなぜですか。

1. 新しい商品を作るときに、若者のアイデアが必要だから
2. 若者に売れる新しい商品は、さらに売り上げが期待できるから
3. 若者は珍しいものにしか興味がないから
4. 若者は他の世代より買い物をよくするから

Track 23

18番 男子学生と女子学生が、「有名人が政治家になることをどう思うか」というアンケート調査の結果について話しています。この女子学生は、選挙で有名人が当選する要因としてどういう人に注目していますか。

男子学生：最近、テレビに出ている有名人が政治家になるってこと、よくあるよね。

女子学生：そうだね。そういえば、この間新聞にアンケートの結果が出てたけど、テレビに出ている有名人が政治家になることに「好ましい」と思っている人は10%ぐらいで、「好ましくない」と思っている人は45%ぐらいだったよ。

男子学生：へえ。「好ましくない」って思ってる人が多いんだ。でも、実際に選挙をやると、そういう有名人が支持を集めるのはどうしてなんだろう。

女子学生：「好ましい」も「好ましくない」もどちらも選ばなかった人の票が入るからじゃ

ない？

男子学生：どういうこと？

女子学生：「わからない」って答えた人たちが45%いるんだけど、この人たちは、立候補した有名人が政治家としてふさわしいって思えば、投票するんじゃないかな。この人たちから支持を得られるかどうかで決まるんじゃない？

この女子学生は、選挙で有名人が当選する要因としてどういう人に注目していますか。

1. 「好ましい」と答えた人
2. 「好ましくない」と答えた人
3. 「わからない」と答えた人
4. アンケート調査を受けていない人

Track 24

19番 男子学生と女子学生が、スーパーやコンビニエンスストアの深夜営業に関する調査について、話しています。この男子学生が調査結果から考えたことは、どんなことですか。

男子学生：ねえ、さっきの授業で聞いた調査結果のことだけどさ。

女子学生：ああ、スーパーとかコンビニの深夜営業が必要かどうかっていうの？

男子学生：うん、若い人のほうが、「深夜営業は必要」って答える割合が高くなってて、年代別での違い、結構はっきり傾向が出てたよね。

女子学生：そうだね。実際、深夜に買い物をするのは、学生とか仕事帰りの若い人とかが多いからね。

男子学生：うーん、やっぱり年齢によって生活の時間帯が違うもんね。

女子学生：そうすると、地域によって、若い人が多いところは深夜営業が「必要」って答える人も多くなるんじゃない。

男子学生：うん。逆に、お年寄りが多いところは「必要ではない」の割合が増えるから、すべてのコンビニに深夜営業が必要だってわけじゃないよね。

女子学生：うーん、そうだね。

この男子学生が調査結果から考えたことは、どんなことですか。

1. 深夜営業は誰にとっても必要である。
2. 深夜営業の必要性は職業によって違う。
3. 深夜営業の必要性はあまり高くない。
4. 深夜営業の必要性は地域によって違う。

20番 テレビ番組のレポーターが、ある動物病院の医者インタビューしています。この病院では、なぜ猫を飼うことにしたと言っていますか。

レポーター：この辺では、野生化した猫が問題となっていますよね。

獣 医：はい、みんなももとは飼い猫だったんですが、飼い主が引っ越すときに捨ててしまうので、野生化し、増えてしまったんです。

レポーター：そのような猫を、こちらの動物病院では、引き取って、飼っていらっしゃるようですが……。

獣 医：はい。今、20匹ほどいます。引き取ってすぐは暴れて大変でしたが、もうだいぶ人に慣れてきましたよ。

レポーター：でも、どうしてこのような活動を？

獣 医：猫を飼う人に、猫が野生化しないよう、ちゃんと自覚をもって飼ってもらいたいという思いから始めたんです。20匹も飼うのは大変ですが、たくさん飼ってたほうが話題になるので、この考えを広める効果もあると思います。

この病院では、なぜ猫を飼うことにしたと言っていますか。

1. 人々に責任を持って動物を飼ってほしいから
2. 引っ越す人が猫を病院に連れてくるから
3. 野生化した猫が人間を襲うから
4. 野生の猫を飼うことは病院の宣伝になるから

🎧 聴読解問題スクリプト

Track 28

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 30

1 番 女子学生と男子学生が、夏休みにゼミの仲間と行う勉強会について話しています。勉強会の場所は、どこに決まりましたか。

女子学生：そろそろ夏休みのゼミの勉強会のこと、決めないとね。これ、うちの大学の、休み中に使える場所だって。

男子学生：あ、ありがとう。勉強会の時期は、なるべく早いほうがいいよね。

女子学生：うん。8月になると、実家や国に帰る人もいるから。

男子学生：じゃ、7月中がいいよね。えーと、参加者は20人だっけ。

女子学生：うん。あ、この第1校舎の教室って、15人しか入れないよ。

男子学生：あ、じゃだめだ。うーん、第2校舎は？

女子学生：え、100人じゃ大きすぎでしょ。

男子学生：そうかあ。んー、大きさからいうと喫茶室とか談話室がいいんだけど……。

女子学生：勉強会、2時間で終わるとは思えないし……。

男子学生：じゃ、大きさには目をつぶることにするか。

女子学生：そうだね。広い方にして、部屋の前のほうの席にみんな集まって座ればいいんじゃない。

男子学生：うん、じゃ、場所はこれで決まりだな。

Track 31

2 番 先生が、動物による農作物被害を防ぐ方法について説明しています。この先生が提案した方法を図にすると、どうなりますか。

先日、ある村から、クマに畑を荒らされて困っているのだが、何か良い対策はないだろうかという相談を受けました。この村では、畑の周りに柵を張り巡らせておいたのですが、クマは地面を掘って柵の下を通り抜けてしまうのだそうです。

そこで、私は他の地域で昔から行われてきたある方法を参考にしました。それは、ある果物の畑を鳥から守るために、畑の周りにその果物より早く実が実り、丈もより高く育つ木を植えるという方法です。この木の実^きは商品としての価値が低いので、鳥に食べられても惜しくないんですね。それで、高い木の上で、先に熟したこの実を鳥たちが食べている間に、低い木の果物を人間が収穫するわけです。

これをヒントにして私が提案したのは、山と畑の間、というか山際に、クマに食べられてもいい作物の畑を作るという方法です。クマは山から下りてきますから、こうすれば、クマのために作った畑でお腹いっぱいになると考えたわけです。

Track 32

3 番 女子学生と男子学生が、男子学生がゼミで発表する鉄鋼業の立地条件について話しています。この男子学生は、発表資料のどの部分を中心に発表しますか。

女子学生：こんどのゼミでは、鉄鋼業の立地の遷り変わりについて発表するんだよね。

男子学生：うん、それで、僕は立地の条件の変化について調べたんだ。これ、発表の資料なんだけど。

女子学生：へえ。19世紀と現代を比べると、鉄を1トンつくるのに必要な石炭って、だいぶ少なくなったんだね。

男子学生：うん。昔はとにかく石炭がたくさん必要だったんだ。

女子学生：あ、だから、石炭の産地が立地の条件になったんだね。石炭が採れるところで鉄をつくってたってことか。

男子学生：うん。でも、20世紀に製鉄の技術が発達して、少ない石炭で鉄がつかれるようになったから、石炭の産地の近くにこだわる必要がなくなったんだ。

女子学生：ふうん。じゃ、現代のこの「海の近く」っていうのは、鉄鉱石とか石炭とかを外国から輸入してるからなの？

男子学生：そう。今度の発表はそこに焦点をあてて話そうと思ってるんだ。鉄をつくってる近くに港があれば、できた鉄を運ぶのにも便利だしね。

Track 33

4 番 先生が外来語について話しています。「リターラウト」という外来語はどのグループに入りますか。

外来語には大きく分けて2つあります。一つは同じ意味の言葉が日本語に既にあるのに、おしゃれな印象を与えるために使われている外来語です。もう一つは同じ意味の表現がもと日本語にはなかったものです。その足りない部分を外国語から取り入れたんですね。この2つめの種類の外来語は更に3つのグループに分かれます。では、次の外来語はどのグループに入るのでしょうか。

道にごみを捨てる人をよく見かけますね。日本語には「ポイ捨て」という言葉がありますが、「ポイ捨てる人」を呼ぶのにいい言葉がありません。そこで、「リターラウト」という外来語を使えばいいという意見があります。「リター」は「ごみ」,「ラウト」は「無作法な人」という意味なのですが、表の中のどのグループに入るかわかりますか。

Track 34

5 番 先生が、公共サービスの民営化について、図を見せながら説明しています。この先生は、どういう点について、十分な理解が必要だと言っていますか。

民営化とは、それまで国や地方自治体が行っていたサービスを企業が行うようにすることです。

この図は、民営化することによって、公共サービスの内容がどのように変わるかを表したものです。民営化にあたっては、まず、現在提供されているサービスの必要性が検討されて、財政的に無駄な部分が削られます。次に、必要であるにもかかわらず現在は行われていないサービスの中から、民営化後の企業が提供すべきサービスが決められます。さらに、民間企業としての視点から、独自の工夫によるサービスが加わります。

このように、民営化すれば、全体としてはサービスが向上しますが、実際には、利益を上げられない今までのサービスを切り捨てる可能性もあります。そうすると、現在は受けられるサービスでも、民営化後は受けられなくなる場合も出てきますから、利用者はその点を十分理解していなくてははいけません。

Track 35

6 番 男子学生と女子学生が、合宿のための買い物について話しています。この男子学生が買わなくてもいいものは何ですか。買わなくてもいいものです。

女子学生：ねえ、今日、車で来てるよね。合宿に持っていくもの、これから買いに行ってくる？

男子学生：うん、いいよ。

女子学生：これがリスト。まだ全然買ってないの。

男子学生：うん。

女子学生：食料品は駅前のスーパーでまとめて買って来てくれる？

男子学生：うん。

女子学生：あ、でもミネラルウォーターは、明日、行くときに途中で、買おうか。国道の脇のディスカウントショップ、すごく安い。

男子学生：でも、明日買い物していると遅くなっちゃうし、今日買っとくよ。

女子学生：そうね。

男子学生：あと、隣の喫茶店のコーヒー豆もたしか安いよ。

女子学生：あ、そうなの。じゃあ、それもお願い。

男子学生：OK。

女子学生：じゃ、薬は私が買いにいくね。薬局はすぐそこだし、軽いし。

男子学生：そう？

女子学生：あ、紙コップとかもスーパーにあると思うから一緒に頼める？

男子学生：うん、わかった。じゃあ、行って来るよ。

Track 36

7 番 先生が、雲ができるしくみについて話しています。この先生が最後に説明するのは、図のどれですか。

ではこれから、雲ができるしくみについて説明します。図を見てください。まず、一つ目は、太陽の熱で地面が温められて地表の空気が軽くなり、それが上昇して雲になるものです。二つ目は、低気圧、つまり気圧が低いところに空気が吹き込んだために、それが上昇気流となってできた雲、それから三つ目は、冷たい空気と暖かい空気がぶつかって、軽いほうの暖かい空気が上昇してできる雲です。四つ目は、空気が風の影響などで山の斜面に沿って上昇し、山を越えるときに雲ができる場合です。

例えば、笠雲と呼ばれる雲を知っていますか。これは、湿った風が山を越えるときにできるもので、ちょうど山頂に笠をかぶせたような形をしています。この笠雲ができるしくみは、1 から 4 の図のどれにあたりますか。

Track 37

8 番 先生が、数の認識に関する実験について話しています。先生は、この実験結果から、ヒトがどのような方法で数を認識していると考えていますか。

ヒトが数を認識するには3つの方法が考えられます。第一は、小さい数なら数えなくてもパッと見てわかるという「直感的把握」、第二は、1, 2, 3, と1つずつ数えていく「数え上げ」、第三は、大きい数でもだいたいいくつと瞬間的にとらえる「推量」です。

この図は、ヒトの数の数え方を調べる実験結果をグラフにしたものです。被験者にはコンピュータの画面に現れたドット、つまり点の数を見て、その数をキーボードで入力してもらいました。グラフには、ドットの数とキーボードを押すまでの反応時間が示してあります。もしヒトが常に「直感的把握」をしているのなら、数が増えても反応時間はそう変わらないはずです。でも、もし「数え上げ」をしているのなら、数が増えると反応時間は長くなるはずです。さて、このグラフでは、傾きは途中から変化しています。この結果から、ヒトが数をどのように認識しているかがわかりますね。

9 番 先生が、授業で論理性について説明しています。この先生は、事例が変わると、どういうことに気づきやすくなると言っていますか。

みなさんは、学校の授業などで、論理的に考えることをよく求められると思いますが、日常生活の中では、論理的ではないのに納得してしまうことが結構あるんじゃないでしょうか。

例えば、この資料の括弧の部分に「スポーツ」という言葉を入れると、「子どもは、健康のために体を強くしなければならない。スポーツをすると体が強くなる。だから、子どもはスポーツをしなければならない。」となります。これは論理的に正しいと思いますか。では、「スポーツ」の代わりに「サッカー」という言葉を入れるとどうでしょうか。「あれ？ ちょっと変だな」と思うでしょう。さらに「サッカー」を「スキー」に変えるとどうでしょうか。明らかに変ですね。体を強くするには、スキー以外にも方法がいろいろ考えられますからね。今挙げた三つの例は論理構造が同じなのですが、後に挙げたものほど、する人が少ないものなので、反論するための例を挙げやすくなりますね。

10 番 学生課の人と留学生がホームステイについて話しています。この留学生が、ホームステイをするのはどの人の家ですか。

事務員：来月からのホームステイ先の一覧がこれなんですけど、何か希望がありますか。

留学生：はい。できるだけ駅から近いお宅をお願いしたいんですが。

事務員：バスがあれば、駅から少し離れていても大丈夫ですか。

留学生：いや、夜遅いとバスがないこともあるので、なるべく駅に近いほうがいいんです。

それから……、英語がわかる方がいらっしゃるところがいいです。

事務員：えっ、日本語がそんなに上手なの？

留学生：ええ、日本語だけだと不安ですし……。あと、家族の人数は多いほうが、にぎやかでいいと思います。

事務員：そうですか？ あなたは日本語がかなりできるようですし、ホームステイでは日本語をたくさん使うことも大事ですよ。

留学生：そうですねえ……

事務員：英語を使わなくてもやっていけるという自信がつきますよ。

留学生：はあ……じゃ、ちょっと心配だけど、日本語だけががんばってみます。

事務員：そうしてください。

留学生：はい。それじゃ、よろしくお願いします。

11番 先生が、生物学の授業で、「アカイエカ」という蚊^かの活動について、図を見せながら説明しています。図2のAの部分で図1より活動量が増えているのは、蚊がどんな行動をしているからですか。

図は、アカイエカという蚊のメスの活動量を、一日のうちの時間ごとに調べたものです。蚊は子孫を残すため交尾をします。交尾前の図1を見てください。これは、夕方暗くなり始める頃と、朝、夜が明ける頃に活動量が非常に多いことを示しています。蚊の交尾行動というのは、オスの蚊が柱のように群れになって飛んでいるところにメスの蚊が飛びこむことで起こります。この柱は、朝と夕方、決まった場所にできるので、この二つの時間帯には、メスが最も活動的になるのです。

そして、交尾が終わったメスの蚊は、吸血行動に移ります。卵を成熟させるためには、哺乳類や鳥類などの血を吸わなければならないのです。それで、対象を探して飛び回るので、図2のAの時間帯は、交尾前に比べて活動量が増えるのです。

12番 男子学生と女子学生が環境保全を呼びかけるチラシを見ながら話しています。女子学生が実践している項目はいくつありますか。

男子学生：地球環境を守る、環境保全行動だって。

女子学生：ふうん。いくつ実際に気をつけてるか見るんだね……。冷房の設定温度は28度がいいのか……。暑い日は25.6度にしちゃうな。

男子学生：うちはエアコンないし、電気もまめに消してる。ええと、新聞や空き缶、空き瓶はちゃんとリサイクルしてるから、これはOKと。

女子学生：私もスーパーで買い物しても、ビニール袋はもらわないようにしてる。

男子学生：水道は？ 僕はちゃんと洗面器に水をためて顔を洗ってるよ。

女子学生：そういえば出しっぱなしだ。気をつけなきゃ。そういえば、川田君、車運転するんでしょ？

男子学生：うん……。ないと不便だからね。あ、でも、急発進はしないよ。

女子学生：私は車は持ってないし、いつも地下鉄だから、この項目はクリアしてるな。

13番 先生が、授業で、自分や他人に対する態度と、他人との交流の仕方について話しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどこにあたりますか。

この図を見てください。これは自分や他人に対する態度が肯定的か否定的かという観点から、人を四つのタイプに分類したものです。

「肯定」とは、自分や他人に対して安心感がある、愛されている、などのプラスのイメージを感じていることを意味し、逆に「否定」は、安心できない、愛するに値しない、などのマイナスのイメージを意味します。

そして、それぞれのタイプの人は、他人と交流するとき、ここに太い字で書かれているような様式で交流する傾向があります。

では、次のような人は図のどのタイプにあたるでしょうか。その人は、自分を高く評価しています。そして、自分の思い通りにならない人や自分の利益につながらない人は、友人や部下でも排除しようとしめます。また、相手にはできないだろうと判断して余計な世話をやいたり、周りの人間の欠点を言ったりすることもあります。

Track 43

14番 セミナーが行われています。今、講師が話しているのは、どの部分ですか。

さて、今日は、数学教育から離れて、ちょっと違った視点から数字を見てみたいと思います。例えば日本語では、「ひい・ふう・みい」という古くからの数え方と「いち・に・さん」という外国から入ってきた数え方があります。ある言語がいろいろな文化と接触した結果、新しい概念を取り入れたり、もともとあったものが変化することはご存知のとおりですが、言語体系の中に組み込まれている数詞、数の数え方もまた、同様のことが言えるわけですね。他の地域での例も、次にご紹介しましょう。

Track 44

15番 先生が、授業で、薬の吸収から排泄までの流れについて、図を見せながら説明しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどの段階にあてはまりますか。

薬が私たちの体の中に入ってから体の外に出るまでを簡単に示すと、このようになります。最初の「吸収」というのは、薬が血液の中に入っていることを意味しています。口から薬を飲む場合、たいてい腸の一部を経て血液に入ります。つまり、この段階で吸収されるわけです。そのあと血液の流れに乗って体のいろいろな部分へ運ばれていきます。これが「分布」です。そこで薬が作用するわけです。このあと、役割を果たした薬の多くは、肝臓で処理されます。肝臓の働きによって薬の作用が消され、体の外に排出されやすい物質に変えられるのです。これが「代謝」です。そして尿や便といっしょに「排泄」、つまり体の外に排出されます。

皆さんはよく「薬が効いてきた」という表現をしたいと思います。一般的に「薬が効く」というのは、この図で言うところの部分で起こっていることですか。

16番 先生が、防災について話しています。この先生がこれから話すのは、表のどの部分にあたりますか。

今日は、自然災害による被害をいかに防ぐか、ということをお話しします。ではこの表を見てください。上段は災害発生前にとられる対策で、被害を出さない、あるいは最小限に抑えるために行われるもの、下半分は災害発生後にとられる対策で、被害を拡大させない、あるいは早く復興できるようにするためのものです。また、縦の列は、その対策を行う人の立場を表していて、国や自治体などの行政機関が行うものと、民間が行うものに分かります。

今まで日本で最も多く行われてきたのは、ある程度の地震に耐えられる建物を建てなければいけないと法律で定めたり、災害時に円滑に避難できるように、道路や情報網を整えるといった対策でした。今日はこの点についてお話しします。

17番 女子学生と男子学生が掲示板を見ながら、集中講義について話しています。この男子学生はどの集中講義を受講しますか。

女子学生：ねえ、集中講義、どれか取る？

男子学生：うん、取るつもり。できれば、9月中に講義二つとりたいんだよね。

女子学生：ああ、でも、大学院生だけを対象にしてるのは、講義は聴けるけど単位はもらえないよ。いいの？

男子学生：あ、そうか。せっかく出るなら単位がほしいな。そうすると、9月はこれを取って、もう一つは8月のにするか。

女子学生：あれ？ このあいだ、8月は実家に帰るかもって言ってなかった？

男子学生：うん。でも、まだ日にちは決めてないから、大丈夫。

女子学生：そう。私、この大学院生も来るのに去年出ただけど、結構大変だったよ。難しいから、取ってる学生も少なかったし。

男子学生：そう。じゃあ、かえって先生にいろいろ質問しやすいじゃない。

僕、挑戦してみるよ。じゃあ、これとこれで決まりだな。

18番 先生が、授業で、問題解決について説明しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

問題を解決するには、まず、それがどんな問題なのか分析しなければなりません。この図の「状況分析」というのは、直面している状況を把握し、課題の優先順位を見極め、そ

の後の取り組み方を決める役目を持っています。ただし、いつもここからスタートするわけではありません。すでに問題が発生していて、何が起きているのかははっきりしているなら、最初から「原因分析」をすればいいでしょう。また、原因がわかっているときには、「決定分析」で最も良い手段、方法を決定します。そして、「リスク分析」では、どんな危機が予想されるか、そして、それをどうやって乗り切るかを考えます。

では具体的な例で考えてみましょう。客に機械を売ったところ、その機械が動かなくなったという場合です。よく見るとネジが一本折れていました。それで、すぐに機械を分解して調べると、原因はネジの強さが足りないことだとわかりました。それでは、この次の段階で必要なのは、図の中のどの分析ですか。

Track 48

19番 先生が、雨水の循環について説明しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどれですか。

雨は建物の屋根や庭、道に降り、土に浸透したり蒸発したりすることで、循環しています。ですから、建物や庭を設計するときは、本来の自然の土地と同じように、雨水を土や空に返せるように考えなければなりません。そのためには、資料にあるように、個々の家庭、町が「雨水をかりる方法」、「雨水を返す方法」を活用する必要があります。「雨水をかりる方法」というのは、雨をすぐに下水道や川に流さず、しばらく庭や街の中にとどめる方法です。「雨水を返す方法」というのは、そうしてとどめておいた雨を地面や大気中に直接返す方法です。

たとえば、庭に池を作れば雨水をためておくことができます。これは資料でいうと「雨水を集める」、「雨水をとっておく」にあたります。では、その池に噴水を作って、池の水を空中に吹き上げさせたらどうでしょう。噴水は水分を空気中に気化させる働きが大きいと言われています。これは、資料で言えば、どれにあたりますか。

Track 49

20番 先生が、経済学の授業で、製品の品質の維持・改善・管理にかかる費用について説明しています。この先生は、資料のどの費用に注目すべきだと言っていますか。

この資料にあるように、品質の改善や管理にかかわる費用は、大きく二つに分類でき、それぞれをさらに二つに分けることができます。(1)は一定の品質を保つための費用で、(2)は製品に問題が発生してしまった場合にかかる費用です。そのような意味では、(2)の費用は、損失と考えることもできます。

一般に、企業は製品の製造にかかる費用をできるだけ下げようとします。その場合、(1)の費用を削ろうとしがちですが、このような考えは大切な点を見落としています。それは、品質管理の不備によるトラブルが増えれば、それに伴って損失も増えるというこ

とです。この「損失が増える」という点を見逃している企業が少なくありません。しかし、こういった費用にもっと注目し、まずはその削減に取り組むべきです。

平成21年度(2009年度)日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

<日本語>

記 述 問題解答例を323ページに掲載

読解	
問い	正解
問 1	3
問 2	2
問 3	4
問 4	1
問 5	4
問 6	3
問 7	4
問 8	1
問 9	2
問10	※
問11	1
問12	4
問13	3
問14	3
問15	3
問16	2
問17	3
問18	2
問19	4
問20	1

聴解	
問い	正解
1 番	3
2 番	4
3 番	2
4 番	3
5 番	1
6 番	3
7 番	4
8 番	2
9 番	4
10番	1
11番	2
12番	1
13番	3
14番	4
15番	1
16番	2
17番	2
18番	3
19番	4
20番	1

聴読解	
問い	正解
1 番	2
2 番	3
3 番	3
4 番	4
5 番	1
6 番	3
7 番	4
8 番	1
9 番	2
10番	1
11番	3
12番	2
13番	1
14番	2
15番	2
16番	1
17番	3
18番	3
19番	2
20番	4

※ 問10の正解は掲載しません。

「記述」問題解答例

①

私は、テレビやインターネットで授業を行うコースに賛成だ。働いている人はなかなか時間の自由がない。自宅で授業を受けられるなら、通学にかかる時間を勉強にあてることができる。また、もし録画や保存ができるならば、仕事で授業時間に間に合わなかったときにも授業を受けられる。

ただ、ひとりで勉強するのは孤独だと思う。悩みがあっても、誰に言ったらいいかわからない。大学へ行くのであれば、同じ教室で顔を合わせる人たちと話し、励ましあって勉強をすることができる。先生との距離も近く感じられるだろう。

その解決策として、メールや掲示板を活用するなど、教師やクラスメイトと気軽に連絡を取り合える手段を用意してはどうだろうか。そうすれば通学時間を節約し、先生や友達と意見を交わしながら勉強することもできるので、学生にとって利点が大きいと思う。このような理由から、私は、テレビやインターネットで授業を行うコースに賛成する。

②

私は、国立公園や世界自然遺産を訪れる観光客の数を制限すべきだと思う。

なぜなら、観光客がその地を訪れるだけで、自然環境が破壊される恐れがあるからだ。たとえば、人々が足を踏み入れることで、土が踏み固められて木々の根が傷つけられたり、その生態系にない植物の種などが靴について持ち込まれたりして、予測不能な影響を与えてしまう。つまり、訪れる人の数が多ければ多いほど、環境破壊の可能性は高まると考えられる。

もちろん、多くの人々が大自然に直に触れ、その素晴らしさを実感することは、自然保護意識を高めることに効果的だという意見もあるだろう。人数を制限することで、そのような機会を人々から奪うということは、マイナスに働く面もあるかもしれない。

しかし、一度傷つけられた自然環境の再生は困難を極める。残された貴重な自然環境を次世代に受け継ぐためにも、訪れる観光客の数を制限することは有効な対策だと思う。

「記述」採点基準

「記述」の採点に当たっては、文法的能力及び論理的能力のそれぞれについて、以下の基準に基づき採点し、それぞれの得点（０～３点）を表示することとします。

（１）文法的能力（０～３点）

- 個々の文についても、文章全体についても、執筆者の意図が明快に理解可能であるもの（文法・表記上の軽微な誤りや文体上やや不自然な点は許容する。）…………… ３点
- 文法・表記上明らかに適切でない点を含むが、文章全体から執筆者の意図は明快に理解可能であるもの…………… ２点
- 文法・表記上明らかに適切でない点がかかなり目立つが、文章全体から執筆者の意図を想像することは可能であるもの…………… １点
- 意味不明の文が多く、文章全体から執筆者の意図を理解することが不可能又は極めて困難なもの…………… ０点

（２）論理的能力（０～３点）

- 主張に根拠が示されており、かつ、主張と根拠との間に十分な論理的関係があり、矛盾が認められないもの…………… ３点
- 主張に根拠が示されており、概ね論理的な関係が認められるが、一部に論理的矛盾や非整合性も存在するもの…………… ２点
- 主張に根拠が示されているが、論理性・客観性を著しく欠いているもの…………… １点
- 主張は示されているが根拠が示されていないもの、または、主張が示されていない、もしくは、何を主張したか曖昧であるもの…………… ０点